

8-4-15 土質・地質専門委員会

1. 専門委員会の委員及び活動体制

平成 27 年度に引き続き、16 名のメンバーで活動を行った。

年間計画に基づく通常の活動は、3 班のワーキンググループ（地盤評価 WG、調査結果品質確保 WG、照査特別 WG 対応）で企画・実施準備を担当し、実務・実行にあたっては専門委員会全体で対応する方針で運営した。

その他、技術委員会他から指示・要請を受けた課題に対しては、その都度全委員にて対応した。また、昨年同様に、年間計画テーマ以外のタスク（地盤工学会、産業技術総合研究所地質調査総合センター、全国地質調査業協会連合会、JACIC 等）にも対応した。

2. 主な活動の記録

(1) 定例専門委員会等の開催

委員全員が参加する専門委員会は、定例化し、

a. 活動概要(1) 年間計画計上課題

テーマ概要	結果の概要
会員向け「第 22 回 設計技術者のための地盤技術講演会」 ：地盤評価 WG 担当	テーマ：「地盤調査結果の解釈と設計への適用」「道路/河川事業における地質・土質調査計画の立て方」についての技術セミナー。東京会場は、CPD 委員会/集合研修調整専門委員会編集の会員に向けた公開用教育教材とした。講師は 6 名の委員にて対応。参加者は、東京会場 107 名、札幌会場 33 名であった。
品質セミナー「エラー防止のために」への参画：照査特別 WG 担当 ※技術委員会照査特別 WG に参加	エラー事例収集、検討、編集 セミナーテキスト改訂・編集 セミナー全国 9 会場＋東京都「技術情報活用研修」に講師 1 名派遣
RCCM 登録更新講習会 ：調査結果品質確保 WG 担当	「地質」及び「土質及び基礎」分野の PPT 教材一部改訂作業

b. 活動概要(2) 追加課題

テーマ概要	作業概要
地盤工学会資格制度対応	「地盤品質判定士協議会」に委員 1 名を派遣
国立研究開発法人産業技術総合研究所地質調査総合センター	「地質標準にかかる JIS (JISA0204、JISA0205) の改訂事務」へ委員 1 名を派遣
全国地質調査業協会連合会対応	「高品質ボーリングコア評価に関する WG」へ委員 1 名を派遣
一般財団法人日本建設情報総合センター (JACIC)	「地質地盤情報電子データ標準化小委員会」へ委員 1 名を派遣
建設コンサルタンツ協会	「熊本自身現地調査団」へ委員 1 名を派遣

原則各月に 1 回、計 9 回開催した（11、2、3 月は休止）。

常設 WG 及び年間計画テーマ以外のタスクのミーティングはメール等を活用しメンバーの負担軽減に努めた。

(2) 活動の概要

平成 28 年度活動の概要は下表 a、b に示すとおりである。

3. 次年度の活動について

基本的に、今年度の活動を踏襲・継続する。当委員会作成「地盤調査結果の解釈と設計への適用」「道路/河川事業に関する調査計画の立て方（改訂版）」会員向け講習会テキストの修正・更新、設計技術者向け調査チェックリストの作成等を目標とする。

（土質・地質専門委員会委員長 斉藤 泰久）